

埼玉県 退職校長会 会報

題字・清水章夫

第157号

平成28年4月

雑感

埼玉県退職校長会副会長 竹本昭剛



昨今の科学・技術の進歩は唯驚く事ばかりである。

今まで夢や漫画の世界であつた人工知能は、ロボット化を現実にし、囲碁や将棋のプロを負かし、車の自動運転までも実現しようとしている。先日は、アメリカの研究チームが重力波を発見したとの報道があつた。この研究では、やがてブラックホールの中や宇宙初期の姿を遡つて見ることが期待されるのである。すぐの実現化とは思われないが、これらは正に漫画の世界のようにワープして過去に遡るようだ。

今や、科学・技術の進歩は地球や宇宙規模で多くの影響をもたらしてきていると言つても過言ではない。

例えば地球の温暖化を見ると、異常現象や災害、更には新たな疫病の出現とその流行等は、予期しなかつた負の遺産と言えよう。我々人間社会においても然りである。長寿社会は喜ばしいことであるが、一方で介護等の問題も派生してきている。霊長類研究者によれば、人の生活や行動様式は、人類発生活以来、何万年もの時を経て、多くの人々の深い関わりの中で育まれ、遺伝子に組み込まれてきたと言う。それが近年急速に変化していると言うのだ。人間関係の希薄化などは

- ② 理事会報告
- ②~③ 米寿・傘寿会員
- ③ 物故会員
- ④~⑩ いまを生きる
- ⑩ 「ホームページ」開設
- ⑪ 定期総会案内
- ⑫ 研究調査報告
- ⑭ 一人一言
- ⑳ 文芸 編集後記

その現れであろう。組織、世代間等の関わりも

情報社会に思う

秩父支部長 笠原幸夫



最近、我が家にもオレオレ詐欺の電話がかかって来たりインターネットでワンクリック詐欺画面の表示や携帯のメールに有料サイトの未納請求があつたりと、危うく被害に遭いそうなことがあります。

光と影の現実

今日、インターネットを通じて情報のやりとり、ネット通販による買い物など、たいへん便利な情報社会で生活し

然りである。例え生活や行動様式が変化したとしても、「自他の命」・「他者を思いやる豊かな心」・「人との繋がり」等を大切に孤立化や無関心が蔓延しない社会にしたいものだ。そのため教育の在り方はいかにあるべきか、喫緊の課題である。

個人の情報時代へ

このような被害を未然に防ぐためには、「詐欺の事例」を知るだけでなく、「だまし」の仕組みをよく理解し対応することが重要だと思えます。

しています。一方で、詐欺や事件にネットが使われ、悪いこともますます増えている現状も見過ごせません。「なりすまし詐欺」、「振り込め詐欺」、「SNSに関連した犯罪」、「パソコンのウイルス」、「個人情報漏えい」云々、次から次へと手の込んだ犯罪が増加し誰もが家に居ながら被害に遭う可能性ができています。

だましの例と対応

怪しい請求画面が届き、『心当たりがない方は、至急連絡下さい。』の表示を見て、慌てて連絡をして氏名・電話番号など個人情報を教えてしま

